

1816
2011・8/10

大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費を含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・田中康寛/印刷・関西共同印刷所

「処分」条例ゆるさないとりくみへ

全国に例を見ない条例での「君が代・愛国心」強制。「教育は2万%強制」「政治は独裁」と語り、9月府議会では強制・命令に従わない教職員への「処分」を含む全面的な教育統制条例(仮称)まで提案するという橋下・大阪維新の会。教育への異常な政治介入や強制条例に、各方面から懸念の声があがっています。職場での学習と府民宣伝・対話を広げ、強制条例廃止と新たな「処分」条例含む教育支配・統制条例(仮称)を許さないとりくみに全力をあげることが求められています。

府民共同の
力で

条例での「強制」に 各方面から批判と懸念

橋下知事を代表とする「大阪維新の会」は、先月の5月府議会に突如として「君が代・愛国心」強制条例を提案。府民的論議が全くない中、短時間の審議で強行可決させました。内心の自由を侵す今回の強制条例には、府議会の他の主な党派(民主・自民・公明・共産)

が(朝日社説)と今回の条例での「君が代・愛国心」強制に懸念の声を寄せています。さらに、大阪教育文化センターが中心となって

「君が代」強制に反対するアピール運動も、作家のあさのあつこさん、佐藤学さん(前日本教育学会会長)ら学者・文化人も呼びかけ人になり、全国規模での1000人アピール運動へと発展しています。

府政転換と結び 学習、府民宣伝、対話へ

橋下知事は、一今の政治に必要なのは独裁

「大阪府が持っている権限、力、お金をむしり取る」(6月29日政治資金パーティ)と語り、強権政治で「大阪都構想」実現を叫んでいます。

しかし、この3年半、橋下知事が府民のためにとりこんで実現した成果や実績は何もなく、くらしと雇用、営業などは悪化の一途です。完全失業率(6.6%)、企業倒産件数(2296件)、生活保護率(3.10%)をはじめ教育条件も含め、くらしや教育は全国最低レベルです。今府政に求められていること

は、冷えたんだ府民の暮らしと営業を直接あたため、大阪経済を活性化させること、そして何より今回の震災・原発事故の教訓から防災・福祉に強い安心・安全の大阪への転換です。

9月府議会に向けた「君が代」強制条例廃止、「処分」条例含む新たな教育統制条例(仮称)許さないたたかいを府政転換のとりくみと結び、職場での学習をもとに府民宣伝・府民対話を旺盛にすすめ奮闘しましょう。



7月27日 京橋で明るい会女性連絡会の大宣伝

湧水
リンゴの物語として有名なウイリアムテルの物語

思想・良心の自由 教育を守る

大教組発行の職場討議資料

7団体発行の府民向けビラ



5月27日府庁前で抗議行動

「君が代」強制と「処分」条例を許さない府民集会



7月20日 教育文化府民会議で宣伝

「君が代」強制と「処分」条例を許さない 府民集会

日時：9月6日(火) 18:30から
会場：エル・おおさか 大ホール
講演：堀尾 輝久さん
(東京大学名誉教授、元日本教育学会会長)

「君が代」強制と「処分」条例を許さない府民集会。これは、民主主義ではない。それは、もはやファシズムである。まして今は、14世紀の時代ではない。基本的な人権、内心の自由を認めている日本国憲法のもとで、公務員であれ、教職員であれ、内心の自由を踏みにじる条例などは許されぬ。このことを大きく、父母・府民に心を込めて訴えかけていこう。なによりも私たちの大切な子どもたちを守るために (K・M)